

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年3月5日～3月9日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
3月5日	地下水ドレンポンド及び観測井の状況確認	T.P.2.5m盤	<p>○地下水ドレンポンド及び観測井の現況について確認した。</p> <p>地下水ドレンポンドについては、海側遮水壁沿いにA～Eの5箇所設置されており、雨水浸入防止対策としてプラスチック製の波板等で覆われていた。それぞれ水位計、サンプリングラック及び中継タンクへ移送する汲上げポンプが設置されており、地下水ドレンポンドEと観測井Eでは、互いに機能を切り替える工事が行われていた。</p> <p>観測井についても、海側遮水壁沿いにA～Eの5箇所設置されており、それぞれ水位計が設置されていた。一部の観測井は、地下水ドレンポンドの清掃時に代替として汲上げできるように仮設ポンプも設置されていた。</p> <p>目視で確認した限り、地下水ドレンポンド及び観測井に異常は認められなかった。</p>	11時45分現在
3月6日	H1東タンクエリア近傍の雨水回収タンクの設置状況の確認	H1東タンクエリア付近	<p>○H1東タンクエリアの南隣における雨水回収タンク設置工事の進捗状況を確認した。</p> <p>溶接型タンク3基が設置されており、タンク本体、タンク本体に付随する流入管の立ち上げ部分及び雨樋の水を流下させる管は完成していたが、移送元からの配管、移送先への配管及びタンク連結管は未接続であった。堰については、設置工事が始まっていなかったが、タンクの基礎の外周部に堰設置のためと思われる線引きがなされていた。</p>	10時09分現在
3月7日	A排水路付替え工事の進捗状況の確認	固体廃棄物貯蔵庫第1, 2棟西側(推進立坑) 固体廃棄物貯蔵庫第3棟東側(既設排水路接続部) 物揚場(A排水路(付替部)流末部)	<p>○A排水路では、上流側に設置されている多核種除去設備等の汚染水漏えいリスクを考慮し、多核種除去設備エリアの流末部から港内へ排水する水路に付け替える工事が行われている。今回、工事の進捗状況を確認した。</p> <p>工事は、前回確認時よりも進捗しており、汚染水の漏えい防止対策として、新たにA排水路の弁に開閉ゲートが設置されており、弁の近傍には、排水路から汲み上げた水を土砂と水に分離させる遠心分離機や、汲み上げた水を分析するPSFモニタ(放射線検出器)を収納するノッチタンクが設置されていた。</p> <p>排水路流末部である物揚場では、U字溝が設置されており、港内へ排水されるようになっていた。</p>	10時12分現在
3月8日	使用済保護衣等保管エリアkの状況確認	使用済保護衣等保管エリアk	<p>○使用済保護衣等保管エリアkの状況を確認した。</p> <p>コンテナは最大4段積みで整然と保管されており、延焼防止対策として消火器が2基配備されていた。エリアの占有率は、限度近くまで達しており、エリアの入口付近に積み卸しに必要と思われるスペースのみが残っていた。</p> <p>目視で確認した限り、コンテナから廃棄物が飛散・流出等している様子は認められなかった。</p>	10時09分現在
3月9日	Bタンクエリアの堰撤去工事の進捗状況の確認	Bタンクエリア	<p>○Bタンクエリアでは、フランジタンクの解体が終了し、堰の撤去工事が行われていることから、工事の進捗状況を確認した。</p> <p>堰の撤去工事は進捗しており、解体に伴い発生したコンクリート殻はフレコンバッグに収納され、エリア南側及び北側に仮置きされていた。エリア北側には、野ざらし状態のコンクリート殻も仮置きされており、雨水に浸かっている状況であったが、東京電力によると、フレコンバッグに収納していないコンクリート殻は、汚染が認められなかったものであり、特に問題ないとのことであった。</p>	12時11分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。